

記載例

ベビーシッター（一時預かり）利用内訳書

【令和 6 年度】

申請者名	杉並 なみ	※申請者は原則として領収書に記載された名義の方です
児童名	杉並 すけ	※児童ごとに作成してください

- ・ 7時～22時の利用と22時～翌7時の利用は記載欄は必ず記載してください
- ・ 支払いに杉並区子育て支援センター発行の領収書は記載欄は必ず記載してください
- ・ 入会金、会費、登録料

実際に事業者を支払った料金から、
対象外の料金（入会金、会費、登録料、交通費、キャンセル料、保険料、おむつ代等の実費等）と
クーポン等の割引を差し引いた金額（純然たる保育料）を記載してください。

令和 6 年 4 月分

利用日	利用時間								実支払額
	日中利用（7時～22時）				夜間利用（22時～翌7時）				
1	9:00	～	10:00	1時間00分					2,500
3					22:00	～	23:00	1時間00分	3,500
7	8:30	～	12:15	3時間45分					9,375
15	13:00	～	13:20	0時間20分					1,000
20	21:00	～	22:00	1時間00分	22:00	～	0:00	2時間00分	9,500
22	9:15	～	10:20	1時間05分					3,750
23					22:15				
28	21:00	～	22:00	1時間00分	22:00	～	7:00	9時間00分	34,000
29	7:00	～	8:00	1時間00分					2,500
日中利用時間合計	9時間10分				12時間45分				¥ 69,625
他ページ含む総計	15時間19分				22時間00分				¥ 117,000 A

利用時間が22時をまたぐ場合は、
22時までと22時からで分けて1行に記載して下さい。

利用時間が日付をまたぐ場合は、
2行使って連続性がわかるように記載して下さい。

日中利用時間 (60分未満切捨)	15時間	×	2,500円	+	夜間利用時間 (60分未満切捨)	22時間	×	3,500円	=	補助基準額	¥ 114,500 B
---------------------	------	---	--------	---	---------------------	------	---	--------	---	-------	-------------

※補助時間数の上限は児童1人あたり同一年度内で144時間
(多胎児の場合は1人あたり288時間)です。

AとBの 小さい方の金額	交付請求額	使用時間数
	¥ 114,500	37時間

交付請求額を補助金交付申請書兼請求書の「請求金額」に記載します

令和 **6** 年 **5** 月分

利用日	利用時間								実支払額	
	日中利用 (7時~22時)				夜間利用 (22時~翌7時)					
5	17:30	~	18:39	1時間09分		~			2,500	
12		~			23:15	~	1:30	2時間15分	7,875	
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
日中利用時間合計				1時間09分	合計				2時間15分	¥ 10,375

2ページ目
上半分の合計

令和 **6** 年 **6** 月分

利用日	利用時間								実支払額	
	日中利用 (7時~22時)				夜間利用 (22時~翌7時)					
3		~			0:00	~	7:00	7時間00分	24,500	
12	9:30	~	14:30	5時間00分		~			12,500	
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
		~				~				
日中利用時間合計				5時間00分	合計				7時間00分	¥ 37,000

2ページ目
下半分の合計

記載する行が不足する場合は、続きを2ページ目と同様に記載して下さい。